

## 学校再編計画策定までの流れ(経緯と今後)



### (背景)

#### 1. 市の計画の位置付け

第2次総合計画(H27)、教育大綱(H27)、公共施設マネジメント基本計画(H28)などにおいて、魅力ある教育環境の実現や、学校再編計画の検討が謳われた。

#### 2. 社会の変化

人口減少、少子高齢社会、グローバル化、AIなどの技術革新などによる社会や働き方の変化。

望ましい教育環境を明確に

### 望ましい教育環境のあり方に関する方針(H29~30年度)

#### [方針の骨子]

- ▶ 主な対象は小中学生
- ▶ 子どもたちの「次代を切り拓く力」(主体的に社会を生き抜くことができる人間力)を育成する
- ▶ そのために、キャリア教育を軸とした小中一貫教育とコミュニティ・スクールを進める
- ▶ 施設は、安心・安全で通いたい・通わせたいと思われる小中一貫校をつくる。
- ▶ 令和12年の開校を目指し、学校再編計画をつくる。

#### [検討方法]

- ▶ 教育のあり方検討会(専門家・教員・保護者・企業・公募の委員)が会議や視察、市民意見交換会を行い、「望ましい教育環境のあり方」を答申
- ▶ 答申を受け、教育委員会で検討し方針を策定
- ▶ シンポジウムを開催

望ましい教育環境を実現するための計画と実践

### 学校再編計画(素案)

(R元~2年度)

#### [方針の骨子]

- ▶ 目指す学校像とその実現のための5つの方針
- ▶ 市立学校は、相良地域・榛原地域に1校ずつの小中一貫校をつくる
- ▶ 学校組合である牧之原小中学校は再編するか検討。地頭方地区は、相良地域の新しい小中一貫校に通うことを前提に御前崎市と協議
- ▶ 場所はエリア選定までとし、相良地域は相良総合センター「い〜ら」から総合グラウンド周辺、榛原地域は榛原中学校から「ぐりんぱる」周辺を想定
- ▶ 令和12年度までの開校を目指す

### 小中一貫教育 コミュニティ・スクール

(R元年度~)

#### [実現に向けての動き]

##### 小中一貫教育(R5年度まで)

- ▶ 9年間の各教科領域のプログラムの作成
- ▶ 中学校区ごとの小中一貫を見据えた研究

##### コミュニティ・スクール

- ▶ 令和4年度全校設置に向け順次立ち上げ
- ▶ 子どもたちの学びと育ちを学校と地域と一緒に考える「学校運営協議会」と、それを実践する「地域学校協働本部」の機能がある新しい形の取り組み

\*新しい学校区が決まった後は、その学校区での連携なども行っていきます

### 学校再編計画策定に向けて(R3年度)

- ▶ 必要な基礎調査を行い、市役所の関係部署による検討会などで検討する
- ▶ 市民の意見を聴く機会を設ける
- ▶ 令和3年度中の策定を目指す

\*新施設、通学方法、既存施設の利活用などについては、学校再編計画策定後に具体的に検討することになります。



## 学校再編計画の策定を目指して

令和元年度から学校再編計画策定委員会に検討をお願いしていた「学校再編計画素案」が答申されたことを受け、市として、学校再編計画の策定に向けて検討していきます。必要な調査をし、市民の皆さんの意見を聞きながら、魅力ある教育環境を実現できるように進めていきます。

問い合わせ 教育総務課 石川奈美 ☎③2642

### 学校再編計画素案

3月29日に、学校再編計画策定委員会から市教育委員会へ、学校再編計画素案が答申されました。

学校再編計画策定委員会は、専門家、教員、保護者、自治会、公募の計10人の委員で構成された諮問機関です。

同委員会は、「望ましい教育環境のあり方に関する方針」をもとに、専門家による講義や市内学校の現状視察、先進地視察などを経て「子どもたちにとってどんな学校がよいか」を考えました。そして、小学校区での市民意見交換会や、中学生と保護者へのアンケートなどを行い、多くの意見を聞きながら、全10回の会議を開催し、計画素案を練り上げました。

策定委員の皆さんは、地域の未来を担う子どもたちを「地域の宝」と捉え、今の自分たちがやらなければならぬという気持ちで取り組んでくれました。素案には「牧之原市で育つ子どもたちが、どんな時代になっても自分の力で自分の未来を切り拓く、たくましい大人になってほしい」と



島田桂吾委員長(右)から橋本勝教育長に学校再編計画素案が手渡されました

の願いが込められています。さらに、この素案をもとに学校を再編することが、教育環境を整えるだけでなく、少子化や人口減少にも歯止めを掛け、持続可能なまちに向けた魅力の一つになると考えました。

素案は、「みんなの学校」を目指し、「令和12年度までに相良地区、榛原地区に1校ずつの小中一貫校をつくること」が骨子となっています。それを実現するための5つの方針も打ち出しています。

市は、この素案をもとに、教育委員会だけでなく、全庁体制で必要な調査や検討を行います。

また、現在の学校施設の利活用などについては、新しい学校づくりと並行して検討していく予定です。

市では、今後も適切な情報発信をし、市民の皆さんの意見を聞きながら検討を進めていきます。

学校再編計画素案は市のホームページから読むことができます

牧之原市 学校再編 答申 検索

